

# 介護コミュニケーション論

[講義] 第2学年 通年 選択 介護コース必修 4単位

《担当者名》長谷川 聡(非) haseg@hoku-iryo-u.ac.jp

## 【概要】

介護実習およびその関連科目学修に際して必要な要介護者・障がい者とその家族、地域住民や関係者とのコミュニケーションに関する知識と技術・技能について、イメージ形成とマインド醸成を主眼に基礎から学ぶ科目である。

## 【学修目標】

- 1) コミュニケーションと音声言語の基本を理解するために、これを説明できる。
- 2) 要介護者を障がい種別に、家族・地域・職場の人間関係を役割別にその概要を理解するために、「コミュニケーションへの配慮」、「傾聴的態度」、「ことばの介助」に着目して説明し実践できる。
- 3) 介護専門職に必要なコミュニケーションスキルと人間関係について理解するために、対人および集団コミュニケーション演習を体験して説明し実践できる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	前期オリエンテーション1： 講義の重要事項と全期間にわたる留意点	シラバスと学修方法について講義し、これを説明できる。 学生の個別学習ニーズについて対話し、これを自ら説明できる。 Google Classroomによる振返り、予習復習活動を体験し、これを実行できる。	長谷川
2	前期オリエンテーション2： プロセスレコード分析の準備	プロセスレコード分析の意味・意義・方法について講義と練習を行い、これを実践できる。	長谷川
3	介護コミュニケーションの基礎1	コミュニケーションの定義・原理・分類について講義と小演習を行い、その内容を説明できる。	長谷川
4	介護コミュニケーションの基礎2	音声言語によるコミュニケーション過程について講義と小演習を行い、その内容を説明できる。	長谷川
5	介護コミュニケーションの基礎3	ケアリングとコミュニケーションについて講義と小演習を行い、その内容を説明できる。	長谷川
6	介護コミュニケーションの基礎4	DSM、ICD、ICFが示すコミュニケーション障がいについて講義と小演習を行い、その内容を説明できる。	長谷川
7	障がい理解とコミュニケーション1	視覚障がい者とのコミュニケーションについて講義と小演習を行い、その内容を説明し実践できる。	長谷川
8	障がい理解とコミュニケーション2	聴覚障がい者とのコミュニケーションについて講義と小演習を行い、その内容を説明し実践できる。	長谷川
9	障がい理解とコミュニケーション3	音声障がい者・構音障がい者・失語症者とのコミュニケーションについて講義と小演習を行い、その内容を説明し実践できる。	長谷川
10	障がい理解とコミュニケーション4	知的障がい者とのコミュニケーションについて講義と小演習を行い、その内容を説明し実践できる。	長谷川
11	障がい理解とコミュニケーション5	精神障がい者とのコミュニケーションについて講義と小演習を行い、その内容を説明し実践できる。	長谷川
12	障がい理解とコミュニケーション6	高次脳機能障がい者とのコミュニケーションについて講義と小演習を行い、その内容を説明し実践できる。	長谷川
13	障がい理解とコミュニケーション7	発達障がい者とのコミュニケーションについて講義と小演習を行い、その内容を説明し実践できる。	長谷川
14	障がい理解とコミュニケーション8	認知症者とのコミュニケーションについて講義と小演習を行い、その内容を説明し実践できる。	長谷川
15	中間総括と夏季休暇課題	前期講義を振り返り対話することにより、その内容と学びを説明できる。	長谷川

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
16	後期オリエンテーション	ロールプレイとプロセスレコード分析の方法と留意点について講義と練習を行い、その内容を説明し実践できる。	長谷川
17	コミュニケーション関連理論応用1	バイステックのケースワークの原則について講義と小演習を行い、その内容を説明できる。	長谷川
18	コミュニケーション関連理論応用2	カウンセリングの基礎技能について講義と小演習を行い、その内容を説明できる。	長谷川
19	コミュニケーション関連理論応用3	ケアリング理論について講義と小演習を行い、その内容を説明できる。	長谷川
20	介護コミュニケーション実践1	初期面接相談のロールプレイを行って場面記録を即時振り返り、自らのコミュニケーション行動を説明できる。	長谷川
21	介護コミュニケーション実践2	初期面接相談ロールプレイのプロセスレコード分析を行い、コミュニケーション関連理論に照らして説明できる。	長谷川
22	介護コミュニケーション実践3	再来面接相談のロールプレイを行って場面記録を即時振り返り、自らのコミュニケーション行動を説明できる。	長谷川
23	介護コミュニケーション実践4	再来面接相談のプロセスレコード分析を行い、コミュニケーション関連理論に照らして説明できる。	長谷川
24	介護コミュニケーション実践5	グループワークのロールプレイを行って場面記録を即時振り返り、自らのコミュニケーション行動を説明できる。	長谷川
25	介護コミュニケーション実践6	グループワークのプロセスレコード分析を行い、コミュニケーション関連理論に照らして説明できる。	長谷川
26	介護コミュニケーション実践7	介護場面のロールプレイを行って場面記録を即時振り返り、自らのコミュニケーション行動を説明できる。	長谷川
27	介護コミュニケーション実践8	介護場面のプロセスレコード分析を行い、コミュニケーション関連理論に照らして説明できる。	長谷川
28	介護コミュニケーション実践9	スピーチまたはプレゼンテーションのロールプレイを行って場面記録を即時振り返り、自らのコミュニケーション行動を説明できる。	長谷川
29	介護コミュニケーション実践10	スピーチ・プレゼンテーションのプロセスレコード分析を行い、コミュニケーション関連理論に照らして説明できる。	長谷川
30	全期総括と振り返り	介護コミュニケーション論全プログラムを振り返り、今後の学修課題を検討して説明できる。 期末課題を説明する。	長谷川

#### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【アクティブ・ラーニング】

導入している

#### 【評価方法】

授業参加（討議発言、ロールプレイ参加、リアクションシート、演習課題）70%、期末課題30%。

#### 【教科書】

「介護初任者研修テキスト2 コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解(第5版)」小池将文・森繁樹監修 日本医療企画

#### 【参考書】

「保健医療専門職のためのヘルスコミュニケーション学入門」石川ひろの著 大修館書店

### 【備考】

この科目は介護福祉士国家試験受験資格取得のための「コミュニケーション技術」に該当する。

Google Classroom, Google Driveを用いた遠隔授業教材・課題を用意している。Classroomのストリームを講義進行に合わせて逐次公開するので積極的に活用してオンライン自習することが期待されている。

全期通じて授業時にも情報ツールを利用するので、スマホ、タブレットやパソコンなどを持参することが望ましい。

教科書は前・後期で異なるが、前期開始時に両方とも入手しておくことが望ましい。

### 【学修の準備】

各回の授業内容に示したテキスト当該部分を事前に通読音読し、難読漢字は必ず調べて振り仮名を振るなどして「読める」ようにしておく。初出専門用語はネット上の専門サイトで定義や解説を調べて記録する。(予習2時間)

授業終了後はリアクションシートを入力提出するとともに、教科書・参考書および授業時に紹介する参考資料を参照しながら、ロールプレイ等の学習体験を振り返り言語化してノートを作成する。(前期、復習2時間)

授業終了後はテキスト当該部分を再読してリアクションシートを入力提出するとともに、グループで連絡を取りながらグループ課題を作成提出する。(後期、復習2時間)

### 【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

### 【実務経験】

行政職員(身障更生相談所福祉技術職)、社会福祉法人理事長

### 【実務経験を活かした教育内容】

相談機関・医療機関・社会福祉施設での実務経験を活かし、高齢者・障害者とその家族の相談やケアの方法、あるいは関連機関・関連職種・地域住民との実践的コミュニケーションスキルを修得する。